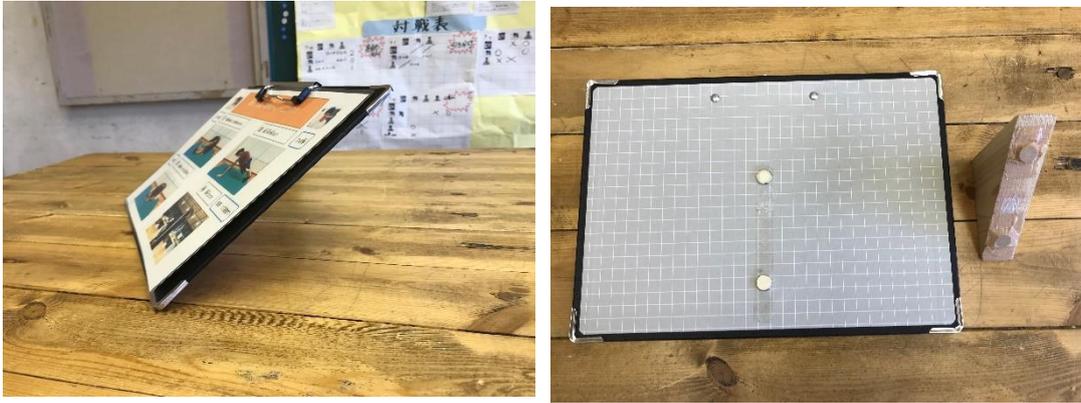


題材名	どっちの箱に入っているか
学部	小学部
教科	国語・算数
指導対象 児童・生徒の太田ステージ：I－3	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・見比べる力を向上することができる。 ・どちらに入っているのか記憶する力を伸ばす。
教材 (写真)	 
指導方法 及び 留意点	<ol style="list-style-type: none"> ①机の手の届かない遠い位置に二つの箱を提示し児童が箱をみるように、「見て」と言い、見たら「見てるね」の言葉がけを行う。見ない時には、箱を叩いて視線を促す。 ②玩具を見せながら利き手側の箱に入れる。児童が箱を見るように言葉がけを行う。 ③反利き手側の箱を斜めにして中身を見せ「こっちは入ってないよ」と言葉がけをして蓋をする。 ④利き手側の箱を斜めにして中身を見せながら、「こっちに入ってるよ」と言葉がけを行い蓋を閉じる。 ⑤「おもちゃどこ」の言葉がけをする。 ⑥入っている箱を見た瞬間に、入っている箱を触りながら「そうだね」という。(入っていない箱は撤去) ⑦玩具が入っている箱の蓋を援助しながら一緒に開ける。
成果	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目で物を追う、物を注視する、固視する力に弱さがある。手元や目の前の教材や提示されているものを注視する力を身に付ける。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見ることに課題がある児童であるため、急激な変化が現段階であるわけではないが、目を使う経験を積み重ねる中で、注視・固視・追視の力を養っていきたい。

<p>題材名</p>	<p>パターン弁別／対応弁別</p>
<p>学部</p>	<p>小学部</p>
<p>教科</p>	<p>国語・算数</p>
<p>指導対象 児童・生徒の太田ステージ：I－3</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染みのある分類課題を通して、コミュニケーション能力の育成 ・教材との二項関係から教員とのやり取りを入れた三項関係へ ・平仮名を取り入れ、名詞理解に向けて平仮名に親しみをもつ
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p>① パターン弁別 一個提示で行い、手を膝に置いた姿勢から教師の問いかけにより要求のサインの後、名詞『とまと』など教員がイラスト・写真の名称を言葉にしながらか進めていく。</p> <p>② 対応弁別 ホワイトボード一枚に対して二個提示で行い、「見て」と言い、見た瞬間に「そうだね、これだね」と言葉かけをし、誤選択肢を撤去する。</p>
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馴染みのある分類課題を通して、コミュニケーション能力の育成 ・教材との二項関係から教員とのやり取りを入れた三項関係へ <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員とのやり取りの中で教材だけでなく、教員に視線が向くようになってきた。 ・提示を行う際に、自分から膝に手を置き正しい姿勢で学習に取り組むことができた。

題材名	体幹トレーニング用書見台
学部	中学部
教科	保健体育「体幹トレーニング」
指導対象 児童・生徒の太田ステージ：Ⅲ以上	
ねらい	・順番に沿って自立して体幹トレーニングに取り組むことができる。
教材 (写真)	
指導方法 及び 留意点	<p>〈指導方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体幹トレーニングの種目と時間を生徒と話し合っ決めて。 ・活動場所を一定にし、書見台とタイマーを設置しておく。 ・タイマーを活用して時間を計りながら、順番に沿って種目を進めていく。 <p>〈留意点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が活動内容を分からなくなってもすぐに確認できるよう、三角形の木材を使用して書見台に角度をつけた。 ・ワークシートの記入がしやすいように、書見台の木材を取り外せるようにした。また、ワークシートの発表がしやすいように、強力マグネットを使用することで、書見台ごとホワイトボードなどに貼れるようにした。
成果	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書見台上の指示書を見ながら、教員の指示が無くても手順に沿って活動ができる。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たとえ活動中であっても瞬時の目線の移動で活動内容を思い出し、手順に沿って活動できた。 ・手順書を活用する他の教科についても活用することができた。

題材名	これは何色？
学部	中学部
教科	国語
指導対象 児童・生徒の太田ステージ：Ⅱ	
ねらい	イラストを、色を基準に分類することができる。
教材 (写真)	
指導方法 及び 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が課題に注目しやすいよう、スタンド状の立体的課題にした。 ・手前に赤、もしくは青のイラストカードを置く。 ・イラストの色を見て、奥にある赤色か青色のプレートに貼り付ける。全てのカードを貼り付けることができたら終了。 ・プレートは、ブックスタンドに下敷きを装着し、折り紙を貼り付けている。 <p>参考文献：「TEACCH プログラムに基づく自閉症児・者のための自立課題アイデア集」 林大輔 著</p>
成果	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストを、色を基準に分類することができる。 ・一人で課題に取り組むことができる。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色を基準として、イラストを分類することができた。 ・自立して課題に取り組むことができた。

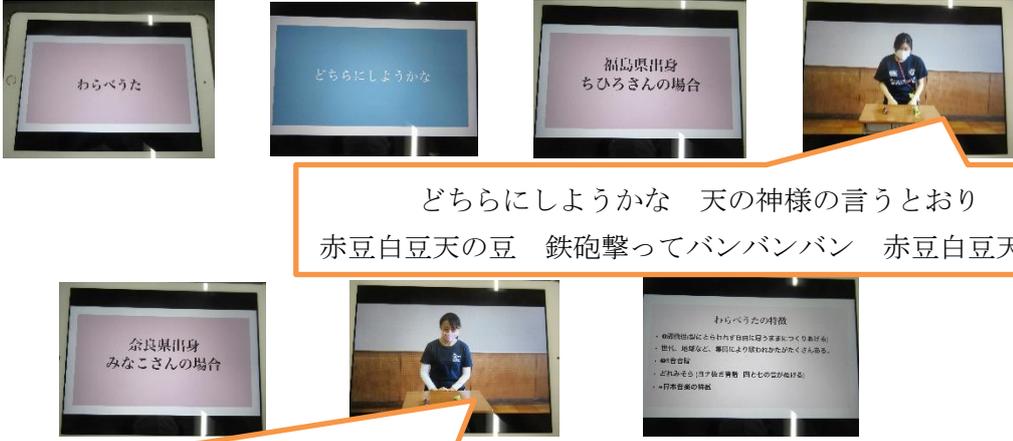
<p>題材名</p>	<p>ごみの分別</p>
<p>学部</p>	<p>中学部、高等部</p>
<p>教科</p>	<p>社会、総合的な学習の時間・探求の時間</p>
<p>指導対象 児童・生徒の太田ステージ：Ⅲ－２～Ⅳ</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別やリサイクルについて考えることができる。 ・ごみを分別することが環境の改善につながることを理解する。 ・地球環境の変化に興味をもつ。
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法及び留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストを見てクイズ形式でどこに分別されるのかを予想する。 ・ワンクリックすると該当の枠にイラストが移動する。 ・動画番組を用いて理解が深まるようにする。 <p>※自信が無く、下を向いていたり気持ちが授業に向きづらかったりする生徒がどうすれば顔を上げて授業に参加できるかを第一に考えてクイズ形式にした。関連して環境問題やリサイクルについても動画を視聴し、ワークシートにまとめるなどした。</p>
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の社会生活に向け、ごみの分別や処理日が自治体によって違うことその他、リサイクルについても理解を深める。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活で取り組んでいることから比較的自信をもって自分の知識を積極的に発言する様子が見られた。映像を用いることで興味をもち、姿勢の改善がみられた。

題材名	物語文『サーカスのライオン』
学部	中学部
教科	国語
指導対象 児童・生徒の太田ステージ：Ⅳ	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味を正しく理解し、話の流れを把握することができる。 ・登場人物の気持ちを考えることができる。
教材 (写真)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="323 857 871 1303"> <p style="text-align: center;">【ワークシート①】</p> </div> <div data-bbox="871 857 1426 1303"> <p style="text-align: center;">【ワークシート②】</p> </div> </div>
指導方法 及び 留意点	<p>登場人物の気持ちを考えるにあたり、表情・行動を具体的にイメージできるようにする。</p> <p>【ワークシート①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目を細くして」をキーワードにして、どんな表情をしているのか絵で表現する。 ・表情を頭に浮かべながら、登場人物の気持ちを言葉で表現する。 <p>【ワークシート②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の様子が分かる描写から表情を想像して絵で表現する。 ・時間の経過や場面の切り替わりに伴う心情の変化を考えるように促す。
成果	<p>(身に付けさせたい力)</p> <p>登場人物の気持ちを様々な観点から考えることを繰り返すことで、日常生活の中でも自分自身や友達の気持ちを考えられるようになってほしいと考えた。</p> <p>(成果)</p> <p>本文中に出てくる心情理解のためのキーワードを生徒の苦手意識が少ないイラストで表現するというステップを入れることで、理解を深めていくことが出来た。</p>

題材名	ひも通し
学部	高等部
教科	職業・家庭
指導対象 生徒の太田ステージ：I-2以上	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・穴に注目し、手をもっていくことができる。(操作的なねらい) ・裏から抜いたひもを次の穴にもっていくことができる。(操作的なねらい) ・課題を楽しみ、達成を共有しようとするすることができる。(対人関係におけるねらい)
教材 (写真)	
指導方法 及び 留意点	<ol style="list-style-type: none"> ①ひもが出ている面を表にする。 ②穴にひもを通す。 ③裏からひもを引っ張る。 ④裏面のまま、次の穴に通す。(以後、①～④を繰り返す) ⑤すべての穴にひもを通し終わったら、「おしまい」の合図や「できました」の報告をし、教員と課題の達成を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ひもが完全に引っ張られるように支援する。 ・必要に応じて、次にひもを通す穴を指差し等で支援する。 ・完成した見本の写真を用意する。 ・手順表を用意する。
成果	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手の動きを目で方向づける力。 ・物を操作する活動を通して、他者とのやりとりを楽しもうとする力。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴に注目し、手をもっていくことができた。 ・裏から抜いたひもを、次の穴にもっていくことができた。 ・課題を楽しみ、教員と課題の達成を共有することができた。

題材名	食育 ～塩・砂糖と上手に付き合おう～
学部	高等部
教科	家庭
指導対象 児童・生徒の太田ステージ：Ⅲ－2後期以上	
ねらい	健康な人生を過ごすことができるための生きる力を習得する。
教材 (写真)	
指導方法及び留意点	<p>〈指導方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験やクイズを取り入れ、自ら進んで考えることができるようにする。 ・学習アプリ「食育の授業」を活用し、おやつやジュース等に含まれている糖質量を可視化する。1日の摂取量（目安）やおやつに含まれる塩や砂糖の量を実際に計量し、重さを体験できるようにする。
成果	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩・砂糖の1日の摂取量を意識し、食生活で塩と砂糖と上手に付き合う力。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おやつを食べすぎたら、翌日は控えるようにする」「ケーキに付ける飲み物は無糖にする」という発表があった。望ましいお菓子の摂り方を理解し、健康を意識し日頃の食生活を自分でコーディネートしようとする態度が見られた。

題材名	陶芸用皿作りガイド
学部	高等部
教科	美術
指導対象 児童・生徒の太田ステージ：Ⅲ－２以上	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドのラインを意識して丸い形に粘土を伸ばすことができる。 ・ガイドを活用して皿の縁を立ち上げることができる。
教材 (写真)	
指導方法及び留意点	<p>〈指導方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計量した陶芸用粘土をガイドの中心に置く。 ・ガイドのラインを気にしながら叩いて粘土を伸ばす。 ・別のガイドのライン上に粘土のヒモを乗せ輪を作り、その上に丸く伸ばした粘土を重ねると皿が出来上がる。 <p>〈留意点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙をくるくると回転させ均等に叩けるようにする。 ・粘土は軟らかめに練っておくと作りやすい。
備考	<p>(身に付けさせたい力)</p> <p>道具や補助具を活用して制作に取り組むことができる力。</p> <p>(成果)</p> <p>造形活動に苦手意識のある生徒でも形の整った器を作ることができた。</p>

題材名	わらべうた
学部	高等部
教科	音楽
指導対象 児童・生徒の太田ステージ：Ⅲ－２以上	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべうたに親しむ ・日本音楽の特徴に気づく ・日本音楽への興味を広げる
教材 (写真)	 <p>どちらにしようかな 天の神様の言うとおおり 赤豆白豆天の豆 鉄砲撃ってバンバンバン 赤豆白豆天の豆</p> <p>どちらにしようかな 天の神様の言うとおおり プツとこプツとこプツプツ 柿の種 もひとつおまけにプツプツプツ 柿の種</p>
指導方法 及び 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビモニターで動画を流しながら進める。 ・生徒からの気付きの発言を大切にしながら、要点につなげていく
成果	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本音楽への興味・関心を引き出す。 ・言葉やイントネーション（音律・韻律）の違うところ、同じところに気づく力をつける。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらべうたから入ることで、日本音楽の音階やリズムなど、難しいことを楽しい気持ちで学ぶことができる